



神小だより

ホームページアドレス <http://kamiyama-es.agano.ed.jp/>

阿賀野市立神山小学校

学校だより 5月号

保護者・地域版

H29年5月11日



「本当に大切なことに気づく質問」

校長 鈴木 正彦

新緑がまぶしい季節となりました。楽しかった連休（ゴールデンウィーク）も終わり、子どもたちの元気な顔があふれる神山小学校が帰ってきました。子どもたちは、連休前の約束「5月8日（月）には元気な顔を見せてください。」を見事に守ってくれました。心より「ありがとう」を伝えたいと思います。

さて、突然ですが質問いたします。

「もし、目の前からいなくなったら、または、無くなったら、とても悲しいと思う人や出来事を2つあげてください。

そして、いなくなったり無くなったりしたときのことを、想像してみてください。」

この質問は、5月2日（火）の全校朝会で、子どもたちにもきいてみました。

私（校長）は、次のようなことを思い浮かべました。

- 家族→家族に支えられて生きているという喜び
- 健康→普段身体のことを意識しないで、思い切り運動し、勉強し、好きなものを食べられる喜び
- 仕事→子ども、保護者・地域の皆様を笑顔にしたい、元気にしたいという思い

ちなみに、2～3人子どもたちにきいてみたところ、すべての子どもたちが最初に思い浮かんだのは「家族」と答えていました。

私たちは生きていけば、どうしてもうまくいかないことや失敗をしてしまうことがあります。そんなとき、「どうして自分だけできないのか、もっていないのか。」と不満や愚痴をこぼすことも多いでしょう。特に、私（校長）はそうです。

しかし、少し考えてみてください。私たちはすでに、たくさんのすばらしい、かけがえない人や物に囲まれ、毎日を生きているということ。

喜びを分かち合い、辛さを受け止めて、いつも温かく見守ってくれる家族がいること、学校では一緒に学び遊べる友達がいること、すばらしい家族や友達の笑顔を見ることができる「目」があること、美しい音を聞き分ける「耳」があること、思い切り走れる丈夫な足腰があること、好きなものを思い切り食べられる「口」があること、元気に動いてくれる胃や腸などの器官が丈夫であること。五頭山麓の美しい自然、効能豊かな温泉、五頭山からの雪解け水で大切に育てられた日本一おいしいささかみ米・・・まだまだ、挙げればきりがありません。

私たちは、毎日の生活の中で当たり前のように、身近にあるかけがえない**幸せ**に気づいていないことが多くあるのではないのでしょうか？

- 「幸せ」は、今ここにあります。
- 「幸せ」は、なるものではなく、気づくものです。
- 大切なものは、失なわなくても気づきたい。



運動ができる幸せ

神山小学校のみなさんには、今ある「幸せ」をかみしめて、学習や運動、係や委員会活動などに、全力で取り組んで欲しいと思います。

5月20日（土）には、「創立40周年記念 大運動会」を予定しています。現在神山小学校では応援練習が始まり、毎日元気な応援歌が飛び交っています。運動会種目も決定し、体育の時間を利用して各種目の練習も始まりました。神山小学校で運動会ができる喜びを、精一杯全身で表現しています。

私たち職員も、この伝統ある神山小学校で創立40周年を迎えられる「幸せ」をかみしめ、子どもたちの心に残る運動会にしたいと、精一杯努めてまいります。

5月20日（土）には、たくさんの保護者・地域の皆様のお越しを、心よりお待ちしております。